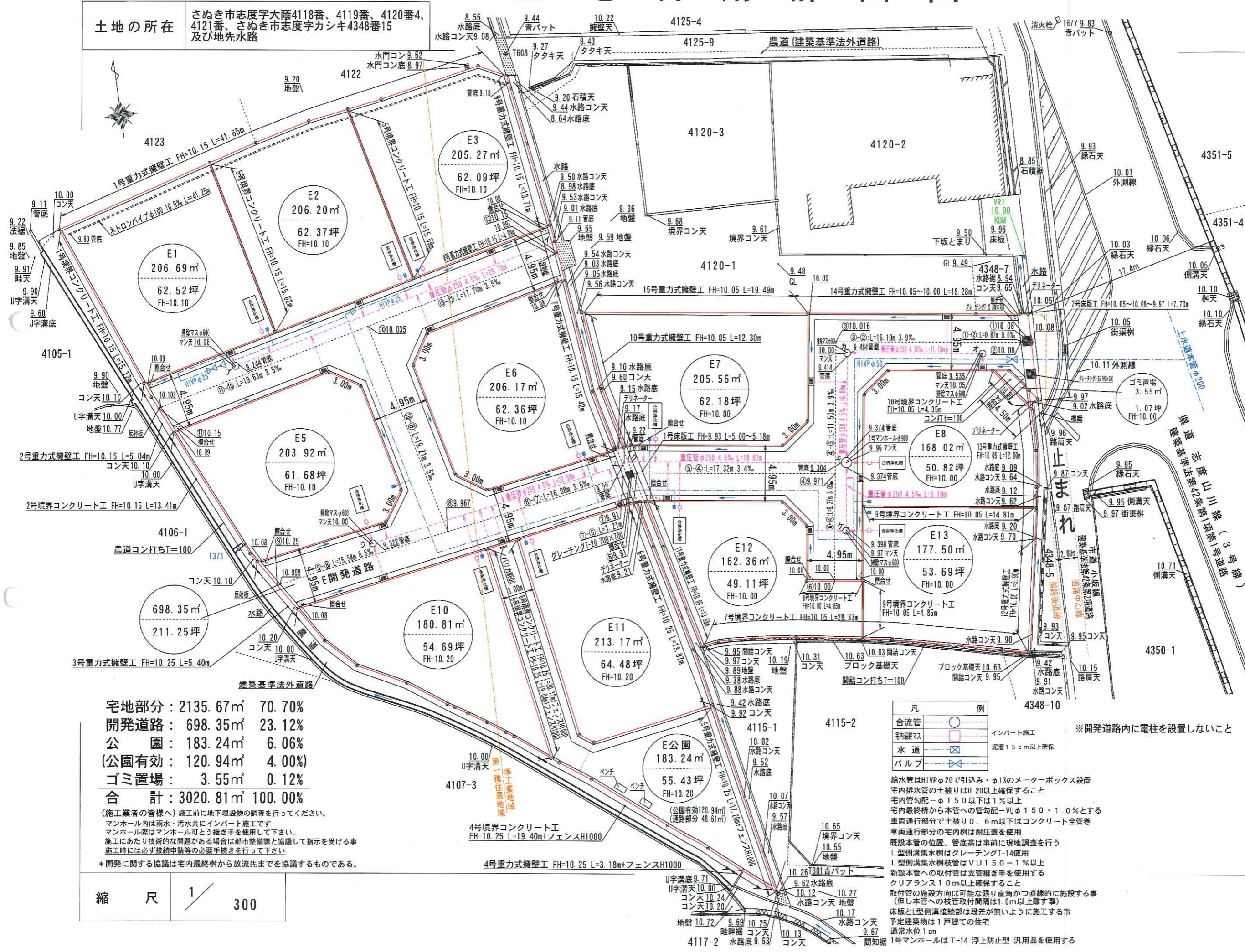


土地利用計画図

土地の所在

さぬき市志度字大蔭4118番、4119番、4120番4、4121番、さぬき市志度字カシキ4348番15及び地先水路



開発許可
年月日

第 令和
年
月
日
号

申請者

株式会社ロータリーハウス
代表取締役 増元 竜彦

作成者
住所・氏名

高松市春日町1643番地9
行政書士 石井 正志

宅地部分	2135.67㎡	70.70%
開発道路	698.35㎡	23.12%
公園	183.24㎡	6.06%
(公園有効)	120.94㎡	4.00%
ゴミ置場	3.55㎡	0.12%
合計	3020.81㎡	100.00%

(施工業者の皆様へ) 施工前に地下埋設物の調査を行ってください。
マンホール内は雨水・汚水共にインバート施工です。
マンホール際はマンホール可とう継ぎ手を使用して下さい。
施工にあたり技術的な問題がある場合は都市整備課と協議して指示を受ける事
施工時には必ず接続申請等の必要手続きを行って下さい
*開発に関する協議は宅内最終枮から放流先までを協議するものである。

凡	例
合流管	○
管内継ぎ手	□
水道	—
バルブ	⊗

給水管はHIVPφ20で引込み・φ13のメーターボックス設置
宅内排水管の土被りは0.20以上確保すること
宅内管勾配-φ150以下は1%以上
宅内最終枮から本管への管勾配-VUφ150・1.0%とする
車両通行部分で土被り0.6m以下はコンクリート全管巻
車両通行部分の宅内樹は耐圧蓋を使用
既設本管の位置、管底高は事前に現地調査を行う
L型側溝集水樹はグレーチングT-14使用
L型側溝集水樹枝管はVU150-1%以上
新設本管への取付管は支管継ぎ手を使用する
クリアランス10cm以上確保すること
取付管の施設方向は可能な限り直角かつ直線的に施設する事
(但し本管への枝管取付間隔は1.0m以上離す事)
床版とL型側溝接続部は段差が無いように施工する事
予定建築物は1戸建ての住宅
通常水位1cm
1号マンホールはT-14 浮上防止型 汎用品を使用する

縮尺 1/300